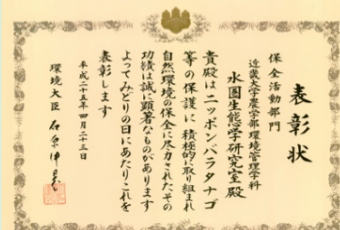


近畿大学農学部環境管理学科水圏生態学研究室
「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞記念講演会

ニッポンバラタナゴを守る本当の意味

— 絶滅危惧種の保護から考える地域の環境と暮らし —



平成25年4月23日、環境管理学科水圏生態学研究室の活動が「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰（保全活動部門）を受賞しました。

国内で最も絶滅の恐れの高い生物の一つとされるニッポンバラタナゴを守るこの活動が、地域のさまざまな人々や機関と連携しながら、奈良の地に広がりつつあります。この機会に、生物多様性を守る事が、我々の暮らしを将来にわたって豊かに維持するためにどうして重要であるのかを、改めてみなさまと一緒に考えていきたいと思ひます。



講演1. 「奈良の地でニッポンバラタナゴを守る本当の意味」

活動代表 水圏生態学研究室准教授 北川 忠生

講演2. 「ニッポンバラタナゴ保護活動、奮闘記」

学生代表 水圏生態学研究室 修士課程2年
岡田 龍也・杉本 智嗣



- ・ 観 察 会：ニッポンバラタナゴ観察
(希少魚ビオトープ、里山水族館)
- ・ 関連展示：授賞式報告、保護活動内容紹介



開 催 日 平成 25 年 5 月 25 日 (土)

講 演 会： 午後 1 時～ 3 時 (午後 12 時 30 分より開場)
観 察 会： 午後 3 時 15 分～ 4 時 (講演会終了後)
講演会会場： 近畿大学農学部 211 教室 (新教室棟)
展 示 会 場： 近畿大学農学部 212 教室 (新教室棟)

参加費：無料 事前申し込み不要

主催 近畿大学農学部環境管理学科
共催 近畿大学農学部里山修復プロジェクト委員会



<連絡先> 環境管理学科 (代表 坂上)
(0742) 43 - 7154